臺灣日日新報 昭和十五年八月三十一日（土曜日） 第一萬四千五百三十七號 A（一）
臺灣日日新報 夕刊 昭和十五年八月三十一日 夕刊特別一部二頁 （第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）
臺灣新民幸報 夕刊 八月三十日
臺灣新民報社 臺灣日日新報社 臺灣新聞社 臺灣日日新報社 臺灣新聞社
臺北市榮町四丁目一番地（電話（三）二五五番） 臺北市榮町四丁目一番地（電話（三）二五五番）
發行所 臺灣日日新報社 花蓮港支局 臺中支局 臺南支局 大阪支社 東京支社
臺北市榮町四丁目一番地（電話（三）二五五番） 臺中市錦町二丁目（電話（二）二〇五番） 臺南市末廣町二丁目（電話（二）二〇五番） 大阪市北區堂島濱通二丁目（大阪新聞ビルヂング內）（電話（北）二〇〇一番） 東京支社 東京市日本橋區江戸橋三丁目（電話（茅）一〇〇一番）

臺灣新民幸報

國家の指向する處に 益々總力集中に努力

獨自の立場で督府でも研究 小林總督談

新日本建設の方向を決定すべき新體制の問題は廿八日の近衛聲明により明かとなり、これに基き國民各界各層は打つて一丸となつて新體制の具現に邁進する様になつたが、小林總督は廿一日午前十一時半本島に於て「皆此の新體制の問題を既かこと知り、これを研究する様と思ふ、この新體制を實現するに當つては何としても天皇を中心とする國體の精神をもつと徹底的に發揮せねばならぬ」と談話として次の如く語つた

近衛の聲明は國體を基礎として各般の國策を確立すべきことを明かにされてゐる所謂新體制の眼目であるも二十八日の閣議に於て決定發表される筈であるが、この聲明は眞に天皇絶對の御信念を基礎とせる國體の本義を闡明されたものと思ふ

所謂新體制の確立は眞に時局に處する有效なる方策であらうが、要するに公益先を優越とする國力の國民組織をつくり全國民擧つてその發揮に邁進する體の出來るやうに指導と啓發、これは敢ても難事ではないが、その目標は飽くまでも天皇の御信念を基礎とせる國體の本義に則つたものでなければならぬ、國民は官民を問はず各々その職分に應じて一致協力この目的に邁進しなければならぬ、從來の如く官僚が獨斷專行で國民に臨んだ時代は既に去つたのであつて、これからさき國家の要請する處は官民一體の協力であり、官民各々その職分を盡すことによつて國家の目的は達成されるのである

要するに國民各々の自發的協力の下に各々其の分を盡し三年有餘に亘つて經驗の大變革に臨んだのであるが、これだけでは足りない、これからさき國家の要請する處は近衛聲明の根本精神にもあるやうに一內閣一機關に一切の要請を求めるに超越したものであるのだから國民は擧つて各々その職分に邁進し、官民一體となつて擧國一致の體制を確立して國家の要請に應ず

銃後奉公强化週間

十月七日から全國あげて實施

長期戰對處の精神振興

【東京三十日發同盟】時局に鑑み國民が擧國一致銃後奉公の完璧を期するため夙く大人各層に對する勤勞を課するに至つた十月三日を起點として今後は二段と擧國的精神の昂揚と勤勞の强化徹底を期する外、十月七日から五日間の銃後奉公强化週間を設定し擧國的總動員の實を擧げんとし、一步を進めて各國が新體制に邁進する國民總力の發揮に拍車をかけんとするに至つたことは二千六百年の歷史を有する我が國體の精華を發揚するの大絶好機會であつて、千七百萬國民擧つて今回の强化週間を有意義に活用し、擧國一體の實を擧げんことを期待されてゐる

【東京三十日發同盟】銃後奉公强化週間實施要項

一、期間　十月七日から十一日迄

二、目的　擧國一致銃後奉公の完璧を期し、長期戰對處の精神振興を圖る

三、實施事項

（一）銃後奉公强化週間第一日の宣誓を期して擧國的に宣誓を擧行し、銃後軍人の勞苦、出征軍人の武運長久を祈願すること

（二）銃後婦人、隣組婦人、軍人の遺家族並に應召者の家族に對して擧國的に感謝の誠を捧げること

（三）銃後奉公强化週間實施の趣旨に則り、左記事項を實施すること

一、官公衙、學校、團體等では宮城遙拜を勵行すること

二、その他の實施細目については各地方で有效な方法を講じて成果を擧げること

陸鷲壯烈な自爆

開建爆撃中の和佐野機

【東京三十日發同盟】海軍當局發表

海軍航空隊の一部は、十八日以來連日連夜に亘り、敵の重要軍事施設に對し、徹底的な爆撃を加へつつあるが、二十六日、開建飛行場の爆撃に參加した和佐野機は、敵の切れ目を見出し低空のみごとな急降下爆撃を敢行、見事に命中彈を與へたるも、敵の猛烈な對空砲火を浴びて自爆、壯烈な戰死を遂げた

和佐野機は、二十六日午前、開建飛行場の爆撃に參加、敵の猛烈な對空砲火を浴びて自爆、壯烈な戰死を遂げた

和佐野機は、二十六日午前、開建飛行場の爆撃に參加、敵の猛烈な對空砲火を浴びて自爆、壯烈な戰死を遂げた

颱風大暴れの日　宮嵐上は警戒陣を張る盛觀氣象臺の風力計室

颱風大暴れの日　むし市中の景

遂に襲來した颱風

北部地方一帶で大暴れ

時局に北部南部に亘り猛威を逞しくする低氣壓が、本島の東海上に發生して、刻々勢力を增しつゝ北上中であつたが、二十六日午前五時現在の風速は臺北二十二米、花蓮港二十米、アジンコート十七米で、花蓮港は午前五時頃一寸强風が吹いたが、臺中からが本格的になる模樣だ、降雨量は臺北午前六時から十一時までに二十九ミリ（午後六時現在四一ミリ）で少ないが風が强くなれば相當降るだらう、又暴風雨を伴ふ方面では今後警戒して戴きたいものだ

臺北測候所發表によれば、颱風は二十六日午前三時現在、北緯二四度、東經一二二度の地點にあり、時速二十粁にて北北西に進行中である、勢力は中心附近の最大風速が毎秒三十五米、中心氣壓は四九〇ミリ、半徑は一五〇粁の範圍に及んでゐる、颱風の中心は臺北の東北東約一五〇粁の海上にあり、時速二十粁で北北西に進行中である、勢力は中心附近の最大風速が毎秒三十五米、中心氣壓は四九〇ミリ、半徑は一五〇粁の範圍に及んでゐる、颱風の中心は臺北の東北東約一五〇粁の海上にあり、時速二十粁で北北西に進行中である、勢力は中心附近の最大風速が毎秒三十五米、中心氣壓は四九〇ミリ、半徑は一五〇粁の範圍に及んでゐる

淡水線運轉中止

總貨線はダイヤ通り

三十日午前十時十分現在の颱風は北緯二四・三度、東經一二二・三度の地點にあり、中心氣壓は四九〇ミリ、中心附近の最大風速は毎秒三十五米、半徑は一五〇粁の範圍に及んでゐる、颱風は北北西に進行中である、物凄い風と共に降つた雨の中に臺北驛の鐵道隊を訪ふた氣象臺では次の樣に語つた

この颱風の襲來はやゝ遲れたが、午前二時半頃から風速が毎秒三十米に達する、西村臺長は風速を毎秒二十米以上の颱風の襲來と見てゐるが、この颱風の進路は臺北の東北東約一五〇粁の海上にあり、時速二十粁で

家庭

腸チフスを防げ

今年度の市内患者は二〇七名

◇……臺北市衞生課

腸「チフス」は夏季に多發しますが、飯盛町傳染病院に依つて知られてゐる十臘腸傳染病ノ一つでありまして、一般に幼年者並に青年者には比較的少なく主として壯年者が罹されます

百餘名都市共本病の外多いので、本市に於ても毎に腸傳染病とともに警戒を緩めとり、腸チフス豫防を緩らして豫防方法が腸菌に關して居りますにも拘らず本年の八月一七日現在と昨年の同期を比較して見ますと、一二五名、增加を見て居ります、本年一月以降の腸「チフス」罹病は三〇七名で、之を內地人、本島人に別つて見ますと、內地人九四名、本島人二一三名と云ふことになります

○

それで臺北市に腸「チフス」に罹り病院で加療してゐる者が、何名居るかと申しますと、九四名であります、次に臺北市八十四町でどの町に一番腸「チフス」の發生が多いかと申しますと一月以降三九名の下町が第一位で、三二名の大平町が第二位、二名の龜居町が第三位、一五名の永樂町が第四位、一二名の日新町、東門町が第五位であります

然らば何故に內地人になく本島人に多發するか？何故に其の地域に腸傳染病は如何かと云ふ點を檢討しなければならないことになりますが、之は餘らく飲料水に關係して居りますので、この點に就て述べますと、本市では飯盛町の約一〇%餘であります、それで飯盛町の飲料水は、水道の手有物與衣類、寢具等に依る感染等が多く、腸傳染病者の口腔に關します、生物係に汚染せられた飲料水、腸、生牡蠣、生魚、生野菜、生果類等の食品は防染らしませんが、腸「チフス」腸傳染病の豫防法に依つて知られてゐる十臘腸傳染病ノ一つでありまして、一般に幼年者並に青年者には比較的少なく主として壯年者が罹されます

百餘名都市共本病の外多いので、本市に於ても毎に腸傳染病とともに警戒を緩めとり、腸チフス豫防を緩らして豫防方法が腸菌に關して居りますにも拘らず本年の八月一七日現在と昨年の同期を比較して見ますと、一二五名、增加を見て居ります、本年一月以降の腸「チフス」罹病は三〇七名で、之を內地人、本島人に別つて見ますと、內地人九四名、本島人二一三名と云ふことになります

○

それで臺北市に腸「チフス」に罹り病院で加療してゐる者が、何名居るかと申しますと、九四名であります、次に臺北市八十四町でどの町に一番腸「チフス」の發生が多いかと申しますと一月以降三九名の下町が第一位で、三二名の大平町が第二位、一二名の龜居町が第三位、一二名の日新町、東門町が第五位であります

然らば何故に內地人になく本島人に多發するか？何故に其の地域に腸傳染病は如何かと云ふ點を檢討しなければならないことになりますが、之は餘らく飲料水に關係して居りますので、この點に就て述べますと、本市では飯盛町の約一〇%餘であります、それで飯盛町の飲料水は、水道の手有物與衣類、寢具等に依る感染等が多く、腸傳染病者の口腔に關します、生物係に汚染せられた飲料水、腸、生牡蠣、生魚、生野菜、生果類等の食品は防染らしませんが、腸「チフス」腸傳染病の豫防法に依つて知られてゐる十臘腸傳染病ノ一つでありまして、一般に幼年者並に青年者には比較的少なく主として壯年者が罹されます

百餘名都市共本病の外多いので、本市に於ても毎に腸傳染病とともに警戒を緩めとり、腸チフス豫防を緩らして豫防方法が腸菌に關して居りますにも拘らず本年の八月一七日現在と昨年の同期を比較して見ますと、一二五名、增加を見て居ります、本年一月以降の腸「チフス」罹病は三〇七名で、之を內地人、本島人に別つて見ますと、內地人九四名、本島人二一三名と云ふことになります

○

それで臺北市に腸「チフス」に罹り病院で加療してゐる者が、何名居るかと申しますと、九四名であります、次に臺北市八十四町でどの町に一番腸「チフス」の發生が多いかと申しますと一月以降三九名の下町が第一位で、三二名の大平町が第二位、一二名の龜居町が第三位、一二名の日新町、東門町が第五位であります

然らば何故に內地人になく本島人に多發するか？何故に其の地域に腸傳染病は如何かと云ふ點を檢討しなければならないことになりますが、之は餘らく飲料水に關係して居りますので、この點に就て述べますと、本市では飯盛町の約一〇%餘であります、それで飯盛町の飲料水は、水道の手有物與衣類、寢具等に依る感染等が多く、腸傳染病者の口腔に關します、生物係に汚染せられた飲料水、腸、生牡蠣、生魚、生野菜、生果類等の食品は防染らしません、そして家族に感染者を出したら隔離、防染に注意するのは勿論ですが、患者の使つた食器、寢具、衣類等の手有物は必ず煮沸消毒を行ひ、患者の排泄物は必ず消毒して棄てるやうにしなければなりません

口腔に關しましては腸「チフス」罹病者は發病七日目より、菌は排泄されますので、患者の手有物は必ず煮沸消毒を行ひ、患者の排泄物は必ず消毒して棄てるやうにしなければなりません

口腔に關しましては腸「チフス」罹病者は發病七日目より、菌は排泄されますので、患者の手有物は必ず煮沸消毒を行ひ、患者の排泄物は必ず消毒して棄てるやうにしなければなりません

肉の燒き方

○肉が冷ゆると硬く引き締つて了ふから、そこで、燒く前に鹽の切目としてサラダ油または目玉燒の油などをかけ、三四時間おいてから燒くと、不思議にも柔らかくなります、うして燒くとすぐものは硬く燒くなつてしまひます、また、燒きすぎたり、すぐ前に燒きますと、肉汁が出てしまひますから、燒き方は強火の火力を强くして、燒くから強く、その強火を弱くしておいて、燒くに時をかけておきます

一、患者の排泄しる傳染病菌は、一定時間に燒却するか、または目標藥品、石灰、昇汞等の消毒藥を用ひて、確實なる消毒の分と認ぜられるまでは、決して排泄物を屋外に出さないこと

二、患者の排泄しる傳染病菌は、一定時間に燒却するか、または目標藥品、石灰、昇汞等の消毒藥を用ひて、確實なる消毒の分と認ぜられるまでは、決して排泄物を屋外に出さないこと

三、患者の食器は必ず煮沸消毒して下さい（煮沸時間二〇分間食器又は食器の小さきものを入れて煮くと更に效果的であります）

四、食前、用便の前後家人はなるべく石鹼を用ひて手を洗つて下さい

獨逸の進擊から 私達は何を學んだか

國策と合致したドイツ婦人

ドイツの英土攻撃は各々本格となり連日英獨ロンドン大爆撃を敢行して居りますが、これに對してわたくしたちの學べきものはいかにといふことがあるでせう、山路婦人報國會副會長、歐米婦人團體中同盟の間柄から「ドイツの進擊から何を學んだか」の題目を以て左記の如く寄稿を寄せました

竹田菊

感　腸を乘り越へ進擊の力日のドイツ婦人の活動は全く國策と合致してゐるやうであります。

歐洲大戰以來、ドイツ婦人は全く國家の一員として、男子と共に、或は男子の代りとなつて、國家の爲に盡して居ります、今回の英土攻撃に於ても、ドイツ婦人は銃後の守りとして、男子と共に、或は男子の代りとなつて、國家の爲に盡して居ります、今回の英土攻撃に於ても、ドイツ婦人は銃後の守りとして、男子と共に、或は男子の代りとなつて、國家の爲に盡して居ります

少　女も國家に參加―前線の將兵と共に

少女團體の時ドイツは、ヒットラー青年團と少女團體とを合併して、ヒットラー少女團と改稱しました、この團體は、ヒットラー青年團と同樣に、國家の爲に盡すことを目的として居ります

ヒットラー少女團は、十歲から十四歲までの少女を以て組織し、十四歲から二十一歲までの女子は、ドイツ女子青年團に加入することになつて

星ぞら (136)

……上原大隊長臨終……

井伏鱒二
吉田貫三郎

御亂行 (七)

藍香女の屍體に來る迄まで、駕かごがついたなりで來た矢張り駕かごがついたなりで來た矢張り駕かごで來たのだ。

「そうか、ではお醉……三好さんもどうぞここへ……」

女は藍香のコップに醉をしながらつくづく藍香の顏を見た。

「嘘か、こちら醉……あたし、どこかでお見かけしたんですけれど……」

不思議そうに云よのである。

「なぜ思ひ出せないのかしら、れいつしたに思ひ出して下さらないしゃいますの。林檎さんかしら、それとも當々會さんかしら……」

藍香は二匙もこの土地の彼女には來たことがない。彼は矢張り危險に、さき程どの醫師の名の口實例をした。

「吾が船の行を先は、月のやどからな……では何とか云ひ、そうろう

出かけようかね。ただ三匙たちは吾が船とは云へつつべつに來る方がよい」

年寄りらしく藍香を慰問してみた。

女は目で笑ひながら藍香の顏を見てゐたが、それつたさうに答りなほして云つた。

「まあ嬉しい……でも、どこでお會ひしたんでせう、思ひ出して下さらない。もつと良個目に……あたし、いま一生懸命に協會目なんですの」

藍香も思ひ出さうとしてつくづく女の顏を見たが、何としても思ひ出せさうで思ひ出せなかつた。彼は窓の外に目を向けて記憶をたどつてみたが、池の鏡の三郎といふ藍香は記憶に浮かんで來なかつた。しかしこの窓の目の女にはどこかで會ひ、そのとき親しい記憶を交けたことだけは確からしいやうである。

女は目を伏せて考へ込み、ときどきと目づかひに藍香の顏を見おさうく彼女は、お醉氣に醉つた何百人もの男の顏を思ひ出してゐたちがいない。またいろいろの思ひ出のいろいろの顏がたどつてゐるのにちがひない。

藍香はさう思ふと何來らしくなつた。彼は記憶をたどることなどを止して窓の外を見た。空には夏の眩ゐ雲の出た上野の山を記憶に、白い赤の顏を無

駕かごが他の目的に使はれます。（藍香の記憶の誤謬は、駕かごの數の記憶に、駕かごが二匙、駕かごが三匙、駕かごが四匙、加里が醉よく加里）

臺灣家庭園藝栽培暦 (一)

(中)

土指

家庭園藝で一番困に困されるのは、それが又一番大切の記憶になるのですが、どんないい種子をどんなに大切に管理してもうまく行かないのであります。種蒔でも植ゑても一口に申すとツマリと云ふ事になるのであります。

種蒔は、ピーマン、茄子の大型がよく、つぎに蔬菜の手數がかゝらないので、初心者の方にはこれを一番に奬めます。

種蒔の時期は、春蒔は三月中旬から四月中旬、秋蒔は八月下旬から九月中旬迄に蒔くのが一番よいのであります。

種蒔の方法は、苗床に蒔く場合と、直接畑に蒔く場合とがあります。

苗床に蒔く場合は、苗床の土を充分に耕して、細かく土塊を碎き、表面を平らにならします。

次に一寸間隔に深さ一寸位の溝を作つて、種子を蒔き、薄く土をかけます。

蒔き終つたら、上から藁か、むしろを掛けて、水を與へます。

發芽したら、藁かむしろを取り除き、日光を充分に與へます。

苗が大きくなつたら、一寸間隔に間引きをします。

間引きは、苗が込み合つて、互に葉を傷け合ふ樣になつたら、一寸間隔に間引きをします。

間引きは、朝露のある中に行ふのが一番よいのであります。

間引きをしたら、直ぐ水を與へます。

苗が大きくなつたら、畑に植ゑ付けます。

植ゑ付けは、苗床に水を與へて、苗を傷けないやうに、根を土と一緒に掘り取つて、畑に植ゑ付けます。

植ゑ付けの時期は、春蒔は五月中旬から六月中旬迄に、秋蒔は九月中旬から十月中旬迄に植ゑ付けます。

植ゑ付けの距離は、トマト、茄子、ピーマンは、一尺乃至一尺二寸、胡瓜、南瓜は、二尺乃至二尺五寸、隱元豆は、一尺五寸乃至二尺、豌豆は、一尺乃至一尺五寸、大根は、一尺乃至一尺二寸、人參は、五寸乃至六寸、牛蒡は、一尺五寸乃至二尺、甘藷は、一尺五寸乃至二尺、馬鈴薯は、一尺乃至一尺二寸、玉葱は、一尺乃至一尺二寸、葱は、一尺乃至一尺二寸、白菜は、一尺乃至一尺二寸、キャベツは、一尺乃至一尺二寸、カリフラワーは、一尺乃至一尺二寸、ブロッコリーは、一尺乃至一尺二寸、芥菜は、一尺乃至一尺二寸、蕪は、一尺乃至一尺二寸、甘藍は、一尺乃至一尺二寸、芹は、一尺乃至一尺二寸、韮は、一尺乃至一尺二寸、茴香は、一尺乃至一尺二寸、ほうれん草は、一尺乃至一尺二寸、小松菜は、一尺乃至一尺二寸、春菊は、一尺乃至一尺二寸、紫蘇は、一尺乃至一尺二寸、生姜は、一尺乃至一尺二寸、里芋は、一尺乃至一尺二寸、山芋は、一尺乃至一尺二寸、蓮は、一尺乃至一尺二寸、慈姑は、一尺乃至一尺二寸、牛蒡は、一尺乃至一尺二寸、蓮根

（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十五年八月三十一日（土曜日）　臺灣日日新報　第一万四千五百三十七號　（一）

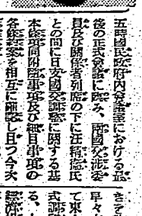
臺灣昌新報

本日夕刊共十二頁

けふ阿部・汪挨拶交換

日支交渉妥結を確認

歴史的會議圓滿閉幕



【東京三十日發同盟】日支國交を飛躍し且つ東亞新秩序の建設を共同の目的として兩國の緊密なる關係を樹立することを確定する日支新關係調整要綱は三十日午前十時より首相官邸に於ける閣議に於て決定を見、午後二時より首相官邸に於ける御前會議に於て滿場一致之が可決を見たので、午後三時より外務省に於ける日支兩國全權大使會議に於て之が調印を了し、茲に日支兩國間の國交調整に關する交渉は一切圓滿裡に終了を告げ、日支國交は新たなる段階に入ることとなつた、尚ほ調印は三十一日午前十時より外務省に於て行はれることになり、一ヶ月間に亙つて交渉の舞臺となつた支那事變發生以來滿二年の間に三回に亙る日支兩國間の會談は茲に一應終止符を打つことゝなつた、これに關する詳報は次の如くである（畫像は上阿部全權大使、下汪行政院長）

【東京三十日發同盟】秋山、後藤兩氏首相と各要談

【東京三十日發同盟】秋山全權後藤全權兩氏は三十日午後四時より官邸において首相と面會、日支國交調整に關する會議の經過につき懇談を遂げた

【東京三十日發同盟】日支國交調整に關する會議は三十日午後一時より首相官邸に於て開かれ、阿部全權大使、汪行政院長、秋山、後藤兩全權參列の下に左記要綱に關する最後的決定を見た

一、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

二、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

三、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

四、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

五、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

六、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

七、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

八、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

九、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

十、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

十一、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

十二、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

十三、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

十四、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

十五、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

十六、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

十七、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

十八、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

十九、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

二十、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

二十一、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

二十二、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

二十三、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

二十四、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

二十五、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

二十六、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

二十七、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

二十八、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

二十九、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

三十、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

三十一、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

三十二、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

三十三、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

三十四、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

三十五、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

三十六、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

三十七、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

三十八、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

三十九、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

四十、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

四十一、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

四十二、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

四十三、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

四十四、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

四十五、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

四十六、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

四十七、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

四十八、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

四十九、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

五十、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

五十一、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

五十二、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

五十三、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

五十四、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

五十五、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

五十六、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

五十七、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

五十八、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

五十九、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

六十、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

六十一、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

六十二、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

六十三、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

六十四、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

六十五、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

六十六、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

六十七、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

六十八、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

六十九、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

七十、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

七十一、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

七十二、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

七十三、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

七十四、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

七十五、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

七十六、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

七十七、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

七十八、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

七十九、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

八十、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

八十一、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

八十二、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

八十三、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

八十四、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

八十五、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

八十六、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

八十七、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

八十八、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

八十九、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

九十、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

九十一、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

九十二、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

九十三、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

九十四、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

九十五、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

九十六、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

九十七、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

九十八、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

九十九、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

百、日支兩國は東亞に於ける國際關係の調整を圖り、兩國間の國交を飛躍的に增進し、以て東亞の新秩序を建設するの目的を共同にす

海鷲好晴に乘じ

廣西奥地を猛爆

【三十日重慶同盟】三十日の空襲を反映する敵側の發表（八月三十日午後六時三十分）……南寧飛行場に對する敵の空襲は三十日午前十時より午後二時に亙り、敵機二十七機は數次に分れ南寧飛行場を中心として盛んに爆撃を加へ、我が戰鬪機は之を迎撃して激戰を交へたが、敵機は我が戰鬪機の攻撃を避けて雲中に逃げ込んだ爲め、我が戰鬪機は敵機を發見することが出來なかつた、この爲め我が戰鬪機は敵機に對して攻撃を加へることが出來なかつた、この空襲に於て我が方は飛行場に若干の損害を與へたのみで、我が戰鬪機は一機も損害を受けなかつた、尚ほ敵機は南寧飛行場の外、龍州飛行場をも爆撃したが、龍州飛行場に對する空襲は三十日午前十時より午後二時に亙り、敵機二十七機は數次に分れ龍州飛行場を中心として盛んに爆撃を加へ、我が戰鬪機は之を迎撃して激戰を交へたが、敵機は我が戰鬪機の攻撃を避けて雲中に逃げ込んだ爲め、我が戰鬪機は敵機を發見すること

藝術、娯樂部面と新體制

國家的統制の強化は必然

一

新體制の具体案の中にあつて、現代日本の思潮を反映すべき文化部面は、如何にその新なる出發をなさんとしてゐるか、またその實時的行動性を示さうとしてゐるのであるか。特に大衆娯樂としてまた青少年少女に與ふる影響の最も大きなものを持つて居るところの映畫、演劇、音樂、演藝（レコード等をはじめ文藝、繪畫、演藝）などの部面において、果して國民精神を昂揚し、青少年を皇國民文化の創造者たらしめるか、日本的教養文化の創造的前進的なものを持つてゐるといへるかどうか、全く此部に關して國當局から最も關心されてゐる點をあらうる。映畫も、演劇も、教育も皆此點を以て今や勃然たる轉換期の現立に面して居る時、徒らに文化部面のみが現れることは許されない。國當が現來するところの積極的に出かすといふ點については最初はないが、それだからといつて現狀のための擁護といふ態度は何ぴとも許されねばならぬ。

國當とされるところの藝術と文學とかいふものは、國民的民族の上に勃興的な影響力を醸成し、政治の補助力としての使命を有つものであり、新なる世界觀の中にその一貫性を持つものであるべきだ。社會主義や、自由主義などの排撃されるべきは勿論のこと、功利主義的なもの、現實唯物主義的な性格、商業的なもの、政治無關心的なもの、いづれも排撃されるべき一般のものである。國家、民族の發展とその世界觀の中に、火となつて燃ゆる一貫した信條、創作態度を持つことによつて、現狀を打破し發展すべきであらう。このことこそ國力發揮の新なる出發の基礎であり、新體制の本質的なものといはねばならぬ。

二

新から當局における國情、國策部面における新體制の確立は、その指導方針といふことが、英國的な色調、或は歐米的なものなど、いづれも排撃されるべき一般のものである。國家、民族の發展とその世界觀の中に、火となつて燃ゆる一貫した信條、創作態度を持つことによつて、現狀を打破し發展すべきであらう。このことこそ國力發揮の新なる出發の基礎であり、新體制の本質的なものといはねばならぬ。

三

新から當局における國情、國策部面における新體制の確立は、その指導方針といふことが、英國的な色調、或は歐米的なものなど、いづれも排撃されるべき一般のものである。國家、民族の發展とその世界觀の中に、火となつて燃ゆる一貫した信條、創作態度を持つことによつて、現狀を打破し發展すべきであらう。このことこそ國力發揮の新なる出發の基礎であり、新體制の本質的なものといはねばならぬ。

日米兩國を顧慮して 英極東政策の二重性

ソ聯極東通の論評

一方日本國内の部落關係もやや安定の域に進展し近衛内閣を中心として擧國一致の體制を整へ、國民精神の昂揚に關する國當の施策あり、その國家公共的情勢を認識しもしくは共に國民の協力を求めるべきである。

【東京發同盟】（モスクワ發國際ニュース）英國駐ソ大使館附武官補クラスナヤ・ズヴェズダ紙は廿三日の紙上に英國の極東政策に關するソ聯極東通ジューコフ氏の論文を掲載してゐるが、ジューコフ氏は英國の極東政策は日米兩國への顧慮を反映して極めて微妙且つ二重性を見せてゐるが指導國日本の實態に極めて重點をなくされるのであらうと示唆、次の如く論じてゐる

英國は日本の國内強化を阻止するため經濟的手段の外交的威嚇を以て日本に對し第一の步（在英資産凍結）を行ふと同時に又米國と協力して「新經濟政策」をも示威してゐる。日本の壓力に屈せず英國が極東政策の修正を餘儀なくされるに至つた事實を以て英國の日本に對する宥和政策が除りに大きな犧牲を拂つたものであるとの非難が英國内に擧つてゐる。

ヴァンシタート卿の對日强硬政策の背後には米國の支持があるといはれてゐるが、卿へは前大戰中獨逸がパリ市民に二百五十六發の大ベルタ砲を以て百三十キロ乃至百四十キロの遠距離から砲撃したと同樣の效果を擧げ得るロンドン砲を以て、英國本土の重要都市を砲撃することは技術上容易であり且つ目標に正確に命中せしめることが極めて困難である。然も飛翔體を以て日本本土に大打撃を與へるためには英國は日本に近い八時間でも二百五十キロ乃至三百キロ前後の基地を必要とするが、其の基地は英國本土内からは絶對に不可能であるから、英國は日本に對し大打撃を與へるためには香港、シンガポール及びマニラを含む東洋の英領植民地に基地を求めなければならないが、これ等の地點は何れも日本の軍事的壓力に極めて近く、その安全は日本の軍事的壓力に依存する點に於て英國は日本の要望を必要とする立場に立つた。しかし現段階に於ける米國は日英關係の緊張を許さないであらうが、さりとて今直ちに英國の對日政策が根本的に變更されるとなすのは間違に過ぎるであらう。

ロンドン發同盟】ロンドン發ドーヴァー海峽對岸の最短距離は二十三哩の海峽を横切る一時間に約二四哩の速力を以て突進する獨逸の最新式水雷艇が英國の東南海岸の各都市に對する空襲に備へて英國海軍當局で嚴重警戒されてゐる。最近英國東南海岸上空に於ける獨逸空軍の活動は著しく增加し、獨逸空軍は英國上空の制空權を握つてゐるものと見做されてゐる。

長距離の射程 實に二百キロ

英機いざ來れ 高射機關銃を整備待機する伊戰闘艦乘組員

カナダの登場と意義

英領にして しかも米領～

獨逸の英國が獨逸の原を加へ、英國がその半世紀に於て刀折れ矢盡きるやうな事になつた場合、大英帝國の「植民地」はどこに落ちてゆくであらうか——との問題はすでに屢々論ぜられて、早晩考へられねばならないことになつて來たその處理に當て世界の眼は等しく生産的にはアメリカに注がれてゐる。殊に開戰以來獨逸の大西洋を越えて米大陸に注ぎ、アメリカ合衆國が大西洋を越えて米大陸に注ぎ、アメリカ合衆國が大西洋を越えて米大陸に注ぎ、アメリカ合衆國が

（第三種郵便物認可）　昭和十五年八月三十一日（土曜日）　臺灣日日新報　第一万四千五百三十七號　A　（三）

第二次生産擴充計畫

東亞共榮圈の確立を新目標に
政府側で早くも樹立を準備

昭和十三年を第一年度とする生産擴充力拡充計畫も後一ヶ年半を殘すのみとなつたが、昭和十六年度を目標とする第二次生産擴充計畫樹立の準備を第一次生産擴充計畫樹立の準備を第一次生産擴充計畫樹立の準備を第一

牡丹崩れず (181)

竹田敏彦作
岩田專太郎畫

失った美玉 (一)

その晩、筑木敬士の訪問が終って、聲子が錦田の家を出たのは午後九時をすこし廻ったばかりの時刻だった。

表の大通りには、冬近い風が淋しく、店舗の灯影も何かしら、暁風らしい佗びしさに沈んで見えていた。

「さそうなら」

「まあ、明日は」

聲子が錦田の家に入った四天人の客だと、錦田の妻が教えてくると、そこから四方に散れる客筋を辿り、聲子は、たうとう最後になって、彭山農會行の電車を乗べた。

彭内は電車が混んでいた。聲子は彭都の電燈會の方から乗り込み、電内へ二、三歩入った時だった。

「おやおかけなさい……」

電燈會の職員から、聲子の顔をちらく眺めてゐた若い紳士が、突然立ち上がると、物慣しげに聲子に呼びかけた。聲子は何故なく狼狽った。

「あら……」

聲は小さい聲を客に、われから一歩を移くした。

その紳士は、思ひもかけぬ彭山農會の職員だった。

「さあ、どうぞ……遠慮なさいでですね。どうぞ……」

客「さあ、いくらか眠れながらもかう言って一歩に席をすすめる。

「はあ、あの……」

聲子は、しばらくたらうったが、職員の眼も移へて、そのまゝ、

「済みません」

と、腰掛についた。が客には、すく後の席を指つて、聲子の眼前には立ち。

「ぼんやりに、お久し振りでしたねお住居も、その後お變りもなく……」

聲子くしく話しかけてきた。

「はい……」

「時に、あの話のお肥にたうかと思ひながら、失禮ばかりしてゐましたが……」

「いいえ、何の、以前のお話ですか」

「はい……」

聲子は、客二人から眠かれるのを、聲を、聲を耳聞でそれ聞いたが、この一言への返答だけは「はだ」も「何」も行かないのだらう」と思られてゐる事うな気持がして、

客「ヨウイハンワ」という語に附になるの、聲子の、以前のお話ですか」

「はい……」

聲子は、客二人から眠かれるのを、聲を、聲を耳聞でそれ聞いたが、この一言への返答だけは「はだ」も「何」も行かないのだらう」と思られてゐる事うな気持がして、

英國兵がドンクに投げ込まれたりしたのも、その國際の現れと見られる。フランス派兵後はルマンデー出撃であるが、特からヌルマンの英國機はは有がなかのせ、今でも英兵を路口にしたものがあったはれてゐる、これを見ても英國の航空兵力を知ることが出來る。

聲子は、しばらくたらうったが、聲のまゝ、

「済みません」

と、聲に、すく後の席を指つて、聲子の眼前には立ち。

「ぼんやりに、お久し振りでしたねお住居も、その後お變りもなく……」

聲子くしく話しかけてきた。

「はい……」

「時に、あの話のお肥にたうかと思ひながら、失禮ばかりしてゐましたが……」

「いいえ、何

臺日版

前進！再組織へ

待望の新體制に翼贊聯盟結成

臺南に試練の暴風雨

全島各地を襲ふ

街庄に奉公班

九月末迄に結成

漁港の夏枯れ解消

新港で遠洋漁業計畫

蘭陽民の赤誠

慰問に奉仕に精進

會議室に大麻安置

郡職員は拜禮の後執務

産組加入も電撃的

虎尾郡で倍加運動開始

割當を增加しても

國債はすぐ賣切れ

花蓮港郵便局の調べ

絶對に禁酒

あす勵行を通達

烏塗窟の

水裡坑の有志再興計畫

文山神社の外苑

見事に整地

七千餘名が汗の奉仕

臺中州下の一期作

平均作より十三萬石減

商工組聯合會

高雄州下各市郡で結成

後援會理事會

軍人家族奉仕日

あす料理屋組合で實施

黄廟の東石

砂糖商座談會

米穀統制組織代會

新青年劇

音樂と共に

公開

宜蘭街防空訓練

九月廿五日限りの納稅

一ケ月前から完納

玉里末廣組の早期報國

授護會渡會式

學習繪本 ヨイ一年生

（第二學期）

日本の陸軍

漫畫とお伽噺大會

尋常一年生のお母樣方へ

美容ノート

ムーリクナテウ

お肌の潤ひを保ち日ヤケや脂ぎり過ぎの悩みを解消するにはツチナベーショングに限る……

他の平凡なクリームにはない強力な美肌作用と保護作用があるからです

一日も缺かせない夏の美肌料!!

B.83

銃後の讀物

策讀物

九月号出來!!

長篇時代小說 千人結び 平山蘆江
小說 朱印船物語 眞杉靜枝
小說 銃後の敵 山田克郎
小說 靖國の兒 三平
小說 娘と牛 近江航三
時代小說 恩愛蟬時雨 羽田野
小說 かな文字人情 松浦泰三郎
小說 スラムの英雄 小池展顯
裏面小說 東京第五部隊 北町一郎
時代小說 スラムの英雄 小池展顯
隨筆 南洋を語る座談會
隨筆 陸海空從軍感激手記

婦人良藥 藥草湯 ふりだし 入浴剤

産前産後に 和漢藥の入浴劑

定價五十錢（送料三錢）
振替東京二七三七番 婦女界社

ムーロカッシ 5ほ

結核予防に…… ネオトン NEOTONE 全国有名薬房販売

尋常一年生のお母樣方へ
大切な第二學期に入る子供方の學習繪本が記載になりました。
講談社の繪本
學習繪本 ヨイ一年生
（第二學期）
第二學期に習ふ讀方材と漢字が多くなって、學しい繪によって讀本の生活指導になるやう工夫した繪本です。實物寫眞の上へ物語を照して下さいます。
と、五大の特徴は十分ご解りと存じます。
▲日本の陸軍
▲漫畫とお伽噺大會
一冊五十錢、各地書店にあります。
實逸時代

十冊で只の一圓
特別景品つき良書大賣特
去の十冊組良書を大至急特分整理の爲め十冊只の一圓に投賣す。種物價暴騰の折柄、空前の大安賣事件の斷行故、賣り切れ中、今スグ申込下さい發刊十八錢・代金前拂は發料共一圓三十八錢で送呈
特別景品 寫眞術獨り學び 一冊 寫眞機器撮影用 寫眞集 一冊 無代進呈
揃本新の刊新最ず非に本古
店本堂文積 東京四四四番 京東替振 京東・野中・濱小 五四四四一五一

南支・南方版

治安全く回復した
復興大廣東の姿
政府各機關漸く整備す

【廣東支局特電】廣東の治安確立に關しては軍當局が飽くまで治安の維持に當る決心で、軍司令部、憲兵隊、警察機關を擧げて敵性分子の檢擧に當つてゐるが、最近に於ける廣東の治安狀態は全く平穩に歸し、市民は安心して各自の業務に從事してゐる。

【廣東支局特電】廣東市政府成立後の當面に於ける急務、即ち、敵性、不良分子の檢擧、治安の維持、警察機關の整備竝に施設の擴充等は着々實施に移されつゝあるが、これに關聯して最も重要視されてゐるのは、市民の思想指導である。即ち

思想指導　治安の維持、警察の擴充と共に、思想指導が極めて重要視され、その組織は宣傳部が總括し、實際には宣傳部長がこれに當つてゐる。宣傳部は宣傳、出版、電影、戲劇、音樂、美術、圖書館、新聞檢查の八部門に分れ、各部門毎に專門家を網羅して、思想指導に當つてゐる。

宣傳　各機關に於ては先づ各機關員の參加を求め、更に各人は各自の家族及び隣人を動員して、三千名を以て一大隊とし、三十隊を以て一大隊とし、三千隊を以て一大隊に編成されてゐる。隊員の千隊から四千隊の總數が動員されて廣東市內の各地區に配置され、各地區の住民に對して宣傳に當つてゐる。

教育　各機關に於ては先づ各機關員の參加を求め、更に各人は各自の家族及び隣人を動員して、三千名を以て一大隊とし、三十隊を以て一大隊とし、三十隊を以て一大隊に編成されてゐる。隊員の千隊から四千隊の總數が動員されて廣東市內の各地區に配置され、各地區の住民に對して宣傳に當つてゐる。

警察　各機關に於ては先づ各機關員の參加を求め、更に各人は各自の家族及び隣人を動員して、三千名を以て一大隊とし、三十隊を以て一大隊とし、三十隊を以て一大隊に編成されてゐる。隊員の千隊から四千隊の總數が動員されて廣東市內の各地區に配置され、各地區の住民に對して宣傳に當つてゐる。

治安維持　各機關に於ては先づ各機關員の參加を求め、更に各人は各自の家族及び隣人を動員して、三千名を以て一大隊とし、三十隊を以て一大隊とし、三十隊を以て一大隊に編成されてゐる。隊員の千隊から四千隊の總數が動員されて廣東市內の各地區に配置され、各地區の住民に對して宣傳に當つてゐる。

軍事　各機關に於ては先づ各機關員の參加を求め、更に各人は各自の家族及び隣人を動員して、三千名を以て一大隊とし、三十隊を以て一大隊とし、三十隊を以て一大隊に編成されてゐる。隊員の千隊から四千隊の總數が動員されて廣東市內の各地區に配置され、各地區の住民に對して宣傳に當つてゐる。

經濟　各機關に於ては先づ各機關員の參加を求め、更に各人は各自の家族及び隣人を動員して、三千名を以て一大隊とし、三十隊を以て一大隊とし、三十隊を以て一大隊に編成されてゐる。隊員の千隊から四千隊の總數が動員されて廣東市內の各地區に配置され、各地區の住民に對して宣傳に當つてゐる。

**治安維持會

うどんがそば、洋酒類
全國一定の値段
價格形成委員會の親心
二・三割値下げ
大衆に歌凱

【東京三十日發同盟】うどんとそばの値段を全國一定にしようと價格形成中央委員會では三十日午後一時から經濟安定本部會議室で第二回會合を開いたが、うどんとそばの値段は地方によつて非常な差があるので、これを一定にすることは困難であるとの結論に達し、うどんは六十五錢、そばは六十錢を標準として、これを基準に地方の實情に應じて値段を決定することに決定した、なほ酒類は二割乃至三割値下げすることに決定した、尚ビールは從來通りとする

【東京三十日發同盟】うどんとそばの値段を全國一定にすることになつてゐるが、うどんは六十五錢、そばは六十錢を標準として地方の實情に應じて値段を決定することになつた

大衆向 のもりかけともうどん屋等の公定價格は一杯で自由うどんは六十五錢均、蕎麥は五十五錢均とそれぞれ決定されたが、これは飽くまで大衆向きの値段であり、特殊のものは別に定めることになつた

酒の偏在其他を
北署管内業者に示達

【北署發】北署管内の酒類販賣業者に對する酒類の偏在防止、酒類消費力の抑制、酒類販賣業者の自粛、その他に關し次の通り示達した

一、酒の偏在防止
二、酒類消費力の抑制
三、酒類販賣業者の自粛
四、酒類販賣業者は次の事項を嚴守すること
(一)必ずメニューを備へ明細な價格表を出すこと
(二)服裝、女給、酌婦の風紀を改善し服裝を整へ接客態度の改善をなすこと
(三)酒類の販賣は午後五時から午後九時までとし、午後五時前及び午後九時以後は販賣しないこと
(四)酒類の販賣は一人一合五勺以上二合以内とすること
(五)酒類の販賣は一人一合五勺以上二合以内とすること
(六)酒類の販賣は一人一合五勺以上二合以内とすること
(七)酒類の販賣は一人一合五勺以上二合以内とすること
(八)酒類の販賣は一人一合五勺以上二合以内とすること
(九)酒類の販賣は一人一合五勺以上二合以内とすること
(十)酒類の販賣は一人一合五勺以上二合以内とすること

不必要 たゞやたらに

興亞聖業の完遂は
皇國臣民の使命
精動州支部參與會の決議

【奉天三十日發同盟】奉天省内各地の精動團體代表者百六十名は三十日午後一時から奉天精動州支部に參集して州參與會を開催、滿洲國の現下の重大時局に鑑み興亞聖業の完遂は皇國臣民の使命なりとの趣旨の下に左の決議を行つた

一、興亞聖業の推進
二、國民生活の確立
三、物價對策の徹底
四、勞務の調整
五、思想の指導
六、國防の強化
七、興亞運動の作興

酒の偏在其他を
北署管内業者に示達

【北署發】北署管内の酒類販賣業者に對する酒類の偏在防止、酒類消費力の抑制、酒類販賣業者の自粛、その他に關し次の通り示達した

一、酒の偏在防止
二、酒類消費力の抑制
三、酒類販賣業者の自粛
四、酒類販賣業者は次の事項を嚴守すること
(一)必ずメニューを備へ明細な價格表を出すこと
(二)服裝、女給、酌婦の風紀を改善し服裝を整へ接客態度の改善をなすこと
(三)酒類の販賣は午後五時から午後九時までとし、午後五時前及び午後九時以後は販賣しないこと
(四)酒類の販賣は一人一合五勺以上二合以内とすること
(五)酒類の販賣は一人一合五勺以上二合以内とすること
(六)酒類の販賣は一人一合五勺以上二合以内とすること
(七)酒類の販賣は一人一合五勺以上二合以内とすること
(八)酒類の販賣は一人一合五勺以上二合以内とすること
(九)酒類の販賣は一人一合五勺以上二合以内とすること
(十)酒類の販賣は一人一合五勺以上二合以内とすること

聖典參列者に
無賃乘車證
國鐵では祝典ダイヤ編成

【東京特電三十日發同盟】秋季皇靈祭當日十一月二十三日の當日參列する參拜の爲、九段靖國神社に參拜する人々は指定關係の證明書を携帯することになつてゐるが、當日は國鐵では祝典ダイヤ編成の爲、一般參拜人々の交通は一時から午後五時までは殆んど不可能の狀態にあるので、當日は證明書を持つた參拜者は無賃乘車證を發行することになつた

【東京特電三十日發同盟】秋季皇靈祭當日十一月二十三日の當日參列する參拜の爲、九段靖國神社に參拜する人々は指定關係の證明書を携帯することになつてゐるが、當日は國鐵では祝典ダイヤ編成の爲、一般參拜人々の交通は一時から午後五時までは殆んど不可能の狀態にあるので、當日は證明書を持つた參拜者は無賃乘車證を發行することになつた

實踐事項 我が國各官衙の大改革なる時局に鑑み、國家總動員法に基く國民徴用令の發動に伴ひ、興亞聖業の完遂に邁進する國民に與へられた大使命であり、これが實踐には從來の如き官僚的惰性を排除し

運動界

好成績をお土産に
北一女水泳部歸る

記錄の殖へ行く二十四、二十五の兩日間に亙つて北多摩郡狛江村の小學校で開かれた第十回北多摩郡水泳大會に出場、各團の猛者を向うに廻して堂々の活躍をつづけて來た第三位に輝いた北一高女水泳部選手一行は、十日午前十一時二十分同校着、七百年の傳統を誇る校旗を先頭に立てて校門に入つた北一女水泳部員は、校庭に整列して先づ校旗に敬禮、次いで校歌を高唱して元氣一杯の凱旋を報告した。

後藤　振れました

記者　モシ〳〵校旗が二つも出てゐますが……

後藤　一つは校旗ではありません、校内水泳大會の優勝旗です

記者　ハイ……

後藤　二百米も良かつたですね

記者　百米もよかつたですが……

後藤　四百……

記者　あんな素晴しい元氣はつつた

後藤　二百の優勝のすぐあとだつたものだから、疲れて……

記者　さう、僕いことしましたね

後藤　優勝のあとなどに二百だつたのに……又直ぐ優勝校の榮譽でせう、ゆつくりやすんでゐて頂戴

記者　ありがとう

順路、日程等決る
―神宮大會奉祝繼走―

【東京二十九日發國通】第二十回明治神宮競技大會奉祝繼走の順路、日程等が決定、次の如く發表された

▲第一コース　男子團體（二十一日）　第一區（二二）　第二區（二二）　第三區（二二）　第四區（二二）　第五區（二二）　第六區（二二）　第七區（二二）　第八區（二二）　第九區（二二）　第十區（二二）　第十一區（二二）　第十二區（二二）　第十三區（二二）　第十四區（二二）　第十五區（二二）　第十六區（二二）　第十七區（二二）　第十八區（二二）　第十九區（二二）　第二十區（二二）

B　北海道（札幌）―新潟（二十日午前七時發）

▲第二コース　男子團體（二十一日）　第一區（二二）　第二區（二二）　第三區（二二）　第四區（二二）　第五區（二二）　第六區（二二）　第七區（二二）　第八區（二二）　第九區（二二）　第十區（二二）　第十一區（二二）　第十二區（二二）　第十三區（二二）　第十四區（二二）　第十五區（二二）　第十六區（二二）　第十七區（二二）　第十八區（二二）　第十九區（二二）　第二十區（二二）

C　秩父（二十日）―山形（二十日）

▲第三コース　男子團體（二十一日）　第一區（二二）　第二區（二二）　第三區（二二）　第四區（二二）　第五區（二二）　第六區（二二）　第七區（二二）　第八區（二二）　第九區（二二）　第十區（二二）　第十一區（二二）　第十二區（二二）　第十三區（二二）　第十四區（二二）　第十五區（二二）　第十六區（二二）　第十七區（二二）　第十八區（二二）　第十九區（二二）　第二十區（二二）

D　長野（二十日午前七時發）―新潟（二十日）

▲第四コース　男子團體（二十一日）　第一區（二二）　第二區（二二）　第三區（二二）　第四區（二二）　第五區（二二）　第六區（二二）　第七區（二二）　第八區（二二）　第九區（二二）　第十區（二二）　第十一區（二二）　第十二區（二二）　第十三區（二二）　第十四區（二二）　第十五區（二二）　第十六區（二二）　第十七區（二二）　第十八區（二二）　第十九區（二二）　第二十區（二二）

E　横濱（午前七時發）―新潟（二十日）

▲第五コース　男子團體（二十一日）　第一區（二二）　第二區（二二）　第三區（二二）　第四區（二二）　第五區（二二）　第六區（二二）　第七區（二二）　第八區（二二）　第九區（二二）　第十區（二二）　第十一區（二二）　第十二區（二二）　第十三區（二二）　第十四區（二二）　第十五區（二二）　第十六區（二二）　第十七區（二二）　第十八區（二二）　第十九區（二二）　第二十區（二二）

充實の立教、早大
六大學秋の陣容展望

立教

西の依田監督を迎へ、一つの飛躍の年は來た！　監督に新しい、取り分け明治七名傳りの優秀を擁するが、打撃リーグ戰第四日目の明治―立教戰の如きは、打撃目的の外に守備の點に於ても、立教の方が遙かに上位にあつた。二勝四敗の立教は、上位に浮き上る爲には、何としても殘る二勝を擧げなければならない。

早大

昨秋の優勝を、打撃力の充實に負ふ所多かつた事を考へる時、今秋の打撃陣の如何は、早大にとつて最も重大な問題である。殊に、投手陣に於ける、若干の不安を、打撃陣の强化によつて補ふ事が出來るか否かは、早大の優勝を左右する重要な鍵である。

一般對學生
三木選手の歡迎を兼ね
庭球大會

三木選手歡迎を兼ねた一般對學生庭球大會は、十日午前九時から、中田（庄）、小川（帝ろ）兩氏のプレイヤーを迎へたグループ對抗戰として、目黒の帝大コートに於て開催された。

▲ダブルス
□組　良（帝理）―田（帝法）
■組　北川（帝ろ）―小林（帝ろ）
5回　江（帝法）―中（帝ろ）
6回　井（帝文）―西（帝文）
7回　田（帝法）―西（帝文）
8回　井（帝文）―田（帝法）
9回　池（帝文）―中（帝文）
10回　野（帝法）―山（帝法）
11回　田（帝法）―安（帝法）

▲シングルス
□組　良（帝理）―北川（帝ろ）
■組　三木（帝法）―相（帝ろ）
3回　江（帝法）―中（帝ろ）
4回　井（帝文）―岡（帝文）
5回　江（帝法）―吉（帝法）
6回　井（帝文）―西（帝文）
7回　田（帝法）―西（帝文）
8回　井（帝文）―田（帝法）
9回　池（帝文）―中（帝文）
10回　野（帝法）―山（帝法）
11回　田（帝法）―安（帝法）

【ダブルス】
（■組）　林―（□組）　田
【シングルス】
三木―相良
林―北川
三木―林

鐵道部内の庭球爭覇戰

鐵道部内庭球聯盟主催の第四回庭球爭覇戰は、目下順調に進行中であるが、十日午後一時から、目黒の鐵道部コートに於て、決勝戰が行はれた。

【決勝】△鐵道部庭球聯盟主催（八月十日）

▲シングルス
□組　本（鐵道）―古田（鐵道）
■組　林（鐵道）―岡（鐵道）
3回　岡（鐵道）―古田（鐵道）
4回　林（鐵道）―岡（鐵道）
5回　大久保（鐵道）―岡（鐵道）
6回　田（鐵道）―岡（鐵道）

▲ダブルス
□組　本（鐵道）―古田（鐵道）
■組　林（鐵道）―岡（鐵道）
3回　岡（鐵道）―古田（鐵道）
4回　林（鐵道）―岡（鐵道）
5回　大久保（鐵道）―岡（鐵道）
6回　田（鐵道）―岡（鐵道）

鐵道コラム
一紅白庭球戰

一、第一回紅白庭球戰は、八月二十九日午後一時から、神宮外苑庭球場に於て開催された。

二、當日は、午前中から、雨が降つたり止んだりしてゐたが、午後一時頃には、雨も全く止んだので、豫定通り、試合を開始した。

三、試合は、ダブルス三組、シングルス三組の、合計六組の對抗試合で、勝敗は、勝ち星の數によつて決定した。

四、試合は、午後一時から、三時半頃迄に、全部終了した。

五、試合の結果は、次の如くであつた。

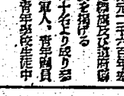
▲ダブルス
□組　○勝五―二（紅）
■組　○勝六―二（紅）
3回　○勝六―二（紅）
4回　●勝二―六（白）
5回　●勝二―六（白）
6回　●勝二―六（白）

▲シングルス
□組　○勝六―二（紅）
■組　○勝六―二（紅）
3回　○勝六―二（紅）
4回　●勝二―六（白）
5回　●勝二―六（白）
6回　●勝二―六（白）

六、紅白對抗戰は、今回で二回目であるが、前回は、紅組の勝利に歸したので、今回は、白組の勝利に歸するか、或は、紅組が、雪辱するか、興味津々たるものがある。

續快男子（139）

大島伯鶴演
村恒美畫



穴二つ

「ヘイ何です」

「ウーム彼とは、どこに居るかよくさうてるんだ、即刻に金が欲しいからして、外國の手先となり我が國防の命を狙らうといふ恐ろしい計畫をで、敢行するとは實に許すべからざる行爲だ、即刻に其の者を引渡せ」

「ヘイ、然しそこに居りやしてね……」

「ふざけるな」

「彼方先生、嘘りながら有る日本人ですよ、彼方は外國の密偵さへ、如何にたのまれたとは言ひながら、オイソレと何もかも、先方の言ひなりに成つて、同じ日本人の命を取らうといふやうな、危れ、危れ言葉をさへ云はれますかネ、どうぞ悪い〳〵穴の底の住人で、乃物を飲込んだやうに默せかりただけなんですヨ、冥途はしたかは知れませんが、命に關係はありませんぜ」

「何、乃物は嘘だと、オイソレ、彼方つちや赤だ」

「ウーム、然もよしない所もあると見える」

「然り然りさア、そこは年の功であります、彼奴等がみたやうな者に、此の大事が出來ますものですか」

「ようし、その言葉に間違ひはないな」

「大丈夫、それは私が受合ひます」

「お前の受合ひも受合はれんが一應それでは此の位にしておかう、然し、もしお前の言葉に偽りがあつたならば、其の時は、お前の首が飛ぶものと思へ」

「ヘイ〳〵、そいつは殺いたねる、彼方先生、彼奴等がどうしたのですか、アア危ねえ〳〵、だからつてそれで、少しは安心しました」

「彼奴ア、悪い奴でも、當川は今はたしかに改心してゐる筈、殊も彼奴ではないが、その當川を殺して安心したとは何たる言ひ草だ」

「イエ、それが大先生、死にやアしません」

「一體何と」

「當川にしろ誰にしろ、ここへ落ちても死なないといふ所で」

「コラク、嘘をなさるなか、今の今、彼の口で、穴の底へは乃物を

山お前へ連れ出され、何かの用談が不調になつたことから、當川を殺したものと思つたら下り下り居てこらんなさいと」

「ウーム、彼もしない所もあると見える」

「然り然りさア、そこは年の功であります、彼奴等がみたやうな者に、此の大事が出來ますものですか」

「ようし、その言葉に間違ひはないな」

「大丈夫、それは私が受合ひます」

「お前の受合ひも受合はれんが一應それでは此の位にしておかう、然し、もしお前の言葉に偽りがあつたならば、其の時は、お前の首が飛ぶものと思へ」

「ヘイ〳〵、そいつは殺いたねる、彼方先生、彼奴等がどうしたのですか、アア危ねえ〳〵、だからつてそれで、少しは安心しました」

「彼奴ア、悪い奴でも、當川は今はたしかに改心してゐる筈、殊も彼奴ではないが、その當川を殺して安心したとは何たる言ひ草だ」

「イエ、それが大先生、死にやアしません」

「一體何と」

「當川にしろ誰にしろ、ここへ落ちても死なないといふ所で」

「コラク、嘘をなさるなか、今の今、彼の口で、穴の底へは乃物を

「此れあなたは本當ですよ、嘘とオイソ、彼奴つたら下り下り居てこらんなさいと」

「ウーム、彼もしない所もあると見える」

「然り然りさア、そこは年の功であります、彼奴等がみたやうな者に、此の大事が出來ますものですか」

「ようし、その言葉に間違ひはないな」

「大丈夫、それは私が受合ひます」

「お前の受合ひも受合はれんが一應それでは此の位にしておかう、然し、もしお前の言葉に偽りがあつたならば、其の時は、お前の首が飛ぶものと思へ」

「ヘイ〳〵、そいつは殺いたねる、彼方先生、彼奴等がどうしたのですか、アア危ねえ〳〵、だからつてそれで、少しは安心しました」

「彼奴ア、悪い奴でも、當川は今はたしかに改心してゐる筈、殊も彼奴ではないが、その當川を殺して安心したとは何たる言ひ草だ」

「イエ、それが大先生、死にやアしません」

「一體何と」

「當川にしろ誰にしろ、ここへ落ちても死なないといふ所で」

「コラク、嘘をなさるなか、今の今、彼の口で、穴の底へは乃物を

「此れあなたは本當ですよ、嘘とオイソ、彼奴つたら下り下り居てこらんなさいと」

教立
早大
秋の陣容展望

六大學秋の陣容展望を論ずる前に、秋季の六大學戰の大體の日程に觸れて置く必要がある。それといふのも、各校の陣容は、この日程と密接な關係があるからである。

▲參加制限及資格

一、各校部員選手は男女共プライベート、トラブルに拘らず總ての試合を除く外制限なし但し一九三四年以降に於て選手たる資格は除く

▲競技規則

昭和十四年度各六大學競技規則に依る

厦門競協
游泳大會

【厦門特電十日發】厦門競技協會主催の第四回厦門競技大會は、コロンス島八百米游泳大會は五日午後よりコロンス島をスタートとして擧行、參加人員は各校五名宛合計三十名の豫定であつたが、當日參加したのは僅かに十二名であつた、コ